

2021年6月3日発行

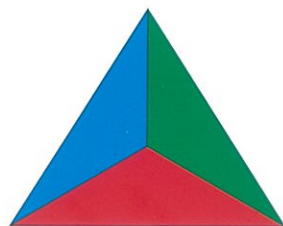
2021年
6月号

(一般社団法人) 三方會

(一般社団法人)三方會 IFSPK 2021年6月3日

会報 三方會

www.sanpookai.com



■ 渋沢栄一略歴



渋沢栄一は天保11年2月13日（西暦：1840年3月16日）、現在の埼玉県深谷市血洗島の農家に生まれました。

家業の畑作、藍玉の製造・販売、養蚕を手伝う一方、幼い頃から父に学問の手解きを受け、従兄弟の尾高惇忠から本格的に「論語」などを学びます。

「尊王攘夷」思想の影響を受けた栄一や従兄たちは、高崎城乗っ取りの計画を立てましたが中止し、京都へ向かいます。

郷里を離れた栄一は一橋慶喜に仕えることになり、一橋家の家政の改善などに実力を発揮し、次第に認められていきます。

栄一は27歳の時、15代将軍となった徳川慶喜の実弟・後の水戸藩主、徳川昭武に随行しパリの万国博覧会を見学するほか欧州諸国の実状を見聞し、先進諸国の社会の内情に広く通ずることができました。

明治維新となり欧州から帰国した栄一は、「商法会所」を静岡に設立、その後明治政府に招かれ大蔵省の一員として新しい国づくりに深く関わります。

1837（明治6）年に大蔵省を辞した後、栄一は一民間経済人として活動しました。そのスタートは「第一国立銀行」の総監役（後に頭取）でした。

栄一は第一国立銀行を諸点に、株式会社組織による企業の創設・育成に力を入れ、また、「道德経済合一説」を説き続け、生涯に約500もの企業に関わったといわれています。

栄一は、約600の教育機関・社会公共事業の支援並びに民間外交に尽力し、多くの人々に惜しまれながら1931（昭和6）年11月11日、91歳の生涯を閉じました。

会社紹介

日米レジン株式会社



■ 人と街、街と世界をつなぐテクノロジー

- 商号
- 所在地
- 設立
- 資本金
- 役員

日米レジン株式会社

本社・工場・研究所 〒596-0013 大阪府岸和田市臨海町15

昭和44年（1969年）5月9日

8000万円

代表取締役 氣田 雄介

取締役 太田 重彦

取締役 西出 靖

取締役 桑畑 茂

取締役 相見 裕次

- 業務内容

エポキシ樹脂製品等の製造・卸売及び一般販売樹脂による施工全般

- 建設業許可

特定建設業（土木・建築・塗装）国土交大臣許可（特-25）第8011号

- 製品使用先

国土交通省・NEXCO東日本・NEXCO中日本・NEXCO西日本
首都高速路（株）・阪神高速路（株）・東日本旅客鉄道（株）
東海旅客鉄道（株）・西日本旅客鉄道（株）・東京メトロ・阪急電鉄
阪神電鉄・東京ガス（株）・大阪ガス（株）・西部ガス（株）

■ 渋沢栄一年譜

西 暦	和 暦	年 齢	主なできごと	日本と世界の動き
1840	天保11年	0	天保11年2月13日（1840年3月16日）、現在の埼玉県深谷市血洗島に生まれる。	アヘン戦争勃発
1847	弘化4年	7	従兄尾高惇忠から漢籍を学。	
1854	安政1年	14	家業の畑作、養蚕、藍問屋業に精励。	
1858	安政5年	18	従妹ちよ（尾高惇忠の妹）と結婚。	日米修好通商条約
1863	文久3年	23	高崎城乗っ取り、横浜焼き討ちを企てるが、計画を中止し京都に出奔。	井伊大老暗殺（1860）
1864	元治1年	24	一橋慶喜に仕える。	外国艦隊下関を砲撃
1866	慶応2年	26	徳川慶喜、征夷大將軍となり、栄一は幕臣となる。	長州征伐、薩長同盟
1867	慶応3年	27	徳川昭武に従ってフランスへ出立（パリ万博使節団）。	大政奉還、王政復古
1868	明治1年	28	明治維新によりフランスより帰国、静岡で慶喜に面会。	戊辰戦争（1868～1869）
1869	明治2年	29	明治政府に仕え、民部省租税正となる。	東京還都
1870	明治3年	30	官営富岡製糸場設置主任となる。	平民に苗字使用許可
1871	明治4年	31	紙幣頭となる。『立会略則』発刊。	廃藩置県
1873	明治6年	33	大蔵省を辞める。第一国立銀行開業・総監役。	国立銀行条例発布
1875	明治8年	35	第一国立銀行頭取。	
1876	明治9年	36	東京会議所会頭。東京府養育院事務長（後に院長）。	私立三井銀行開業
1878	明治11年	38	東京商法会議所創立・会頭（後に東京商業会議所・会頭）。	
1883	明治16年	43	大阪紡績会社工場落成・発起人（後に相談役）。	鹿鳴館開館式
1884	明治17年	44	日本鉄道会社理事委員（後に取締役）。	華族令制定
1885	明治18年	45	日本郵船会社設立（後に取締役）。東京瓦斯会社創立（創立委員長、後に取締役会長）	内閣制度制定
1886	明治19年	46	「竜門社」創立。東京電灯会社設立（後に委員）。	
1887	明治20年	47	日本煉瓦製造会社創立・発起人（後に取締役会長）。帝ホテル創立・発起人総代（後に取締役会長）。	
1888	明治21年	48	札幌麦酒会社創立・発起人総代（後に取締役会長）。	
1889	明治22年	49	東京石川島造船所創立・委員（後に取締役会長）。	大日本帝国憲法公布
1890	明治23年	50	貴族院議員に任ぜられる。	第一回帝国議会
1891	明治24年	51	東京交換所創立・委員長。	
1892	明治25年	52	東京貯蓄銀行創立・取締役（後に取締役会長）。	日清戦争勃発（1894）
1895	明治28年	55	北越鉄道会社創立・監査役（後に相談役）。	日清講和条約調印
1896	明治29年	56	日本精糖会社創立・取締役。日本勧業銀行設立委員。第一国立銀行が営業満期により第一銀行となる。引続き頭取。	
1897	明治30年	57	渋澤倉庫部開業（後に渋澤倉庫会社・発起人）	金本位制施行
1900	明治33年	60	日本興業銀行設立委員。男爵を授けられる。	
1901	明治34年	61	日本女子大学校開校・会計監督（後に校長）。東京・飛鳥山邸を本邸とする。	
1906	明治39年	66	東京電力会社創立・取締役。京阪電気鉄道会社創立・創立委員長（後に相談役）。	鉄道国有法公布
1910	明治43年	70	政府諮問機関の生産調査会創立・副会長。	日韓併合
1912	大正1年	72	ニューヨーク日本協会協賛会創立。名誉委員長。帰一協会成立。	
1913	大正2年	73	日本結核予防協会創立・副会長。（後に会頭）日本実業協会創立・会長。	
1914	大正3年	74	日中経済界の提携のため中国訪問。	第一次世界大戦勃発
1915	大正4年	75	パナマ運河開通博覧会のため渡米。ウイルソン大統領と会見。	
1916	大正5年	76	第一銀行の頭取等辞め実業界を引退。日米関係委員会が発足・常務委員。	
1917	大正6年	77	日米協会創立・名誉副会長。	事実上の金本位停止
1919	大正8年	79	協調会創立・副会長。	ヴェルサイユ条約調印
1920	大正9年	80	国際連盟協会創立・会長。	株式暴落（戦争恐慌）
1921	大正10年	81	排日問題善後策を講ずるため渡米。ハーディング大統領と会見。	
1923	大正12年	83	大震災善後会創立・副会長。	関東大震災
1924	大正13年	84	日仏会館開館・理事長。東京女学館・館長。	米国で排日移民法成立
1926	大正15年	86	日本放送協会創立・顧問。	
1927	昭和2年	87	日本国際児童親善会創立・会長。日米親善人形歓迎会を主催。	金融恐慌勃発
1928	昭和3年	88	日本航空輸送会社創立・創立委員長。日本女子高等商業学校発起人。	
1929	昭和4年	89	中央盲人福祉協会創立・会長。	世界大恐慌はじまる
1931	昭和6年	91	11月11日永眠。	満州事変

高弾性・高強度樹脂モルタル

アルプロン HM

NEXCO断面修復材規格対応

『エポキシ樹脂と特殊骨材がセットになっており、誰でも簡単に施工ができる樹脂モルタルです。』

用途

- ・断面修復
- ・欠損部補修
- ・充填接着

特徴

- ・高弾性・高強度
- ・小分け製品のため計量不要
- ・1回の厚みが最大5cm
- ・便利な使いきりタイプ

NEXCO規格



NEXCO 橋梁補修工事管理規程(平成19年改訂版)
左官工法による断面修復の性能調査項目基準値に適合

施工例

- ・ストラット部の充填
- ・拡幅部の充填
- ・セグメントの充填接着
- ・欠損部の充填



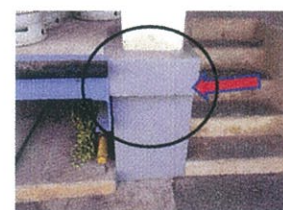
- 一般的なコンクリート構造物の断面修復。
- 高強度を必要とするコンクリートの断面修復。
- 早期強度が必要なコンクリートの断面修復。
- コンクリート構造物の欠損部補修。
- コンクリート二次製品等の補修。
- セグメント製品等のコンクリート部材の充填接着。

- ☆ コンクリート以上の圧縮強度が得られます。
- ☆ コンクリートと同等の弾性係数・熱膨張係数を有します。
- ☆ モルタル・コンクリートに強力に接着します。
- ☆ 作業性・成型性・耐水性・耐候性に優れています。
- ☆ 断面修復後は、コンクリートの中性化を防止します。
- ☆ 割れ・ひびが発生しにくい。
- ☆ NEXCO断面修復材の規格に対応した樹脂モルタルです。
- ☆ 計量の必要がない小分け製品のため施工管理が容易です。
- ☆ モルタル、コンクリートでは難しい薄層の施工が可能です。
- ☆ 汎用エポキシパテ材に比べて安価で済みます。

品質項目	結果	基準値
硬化時間	3時間	1時間以上
厚塗り性	たれずれはがれ、ふくれを認めず	たれずれはがれ、ふくれのないこと
断面修復材の外観 (塗膜厚)「温冷繰り返し試験後」	均一で、われはがれ、ふくれを認めず	均一で、われはがれ、ふくれのないこと
硬化収縮性	0.01%	0.05%以下
熱膨張性 「硬化収縮試験後」	反り返りを認めず	硬化に伴う変形により反り返りが少ないこと
コンクリートとの付着性	標準	2.8N/mm ² (基盤破壊)
	湿潤	2.8N/mm ² (基盤破壊)
	耐アルカリ性	2.5N/mm ² (基盤破壊)
	温冷繰り返し	2.6N/mm ² (基盤破壊)
塗装塗膜との付着性 ※1)	自社試験にて確認	1.0N/mm ² 以上
圧縮強度	143N/mm ²	補修設計で定めた設計基準強度以上



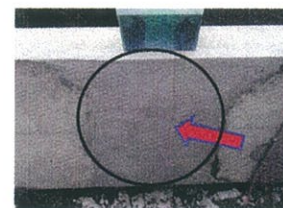
ストラット部



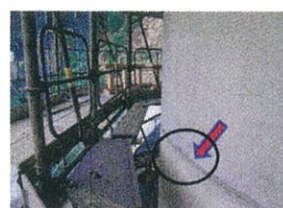
基礎欠損補修部



断面修復部



欠損修復部



橋脚充填接着部



橋面断面修復部

青天も衝け

淡沢栄一作

勢衝青天攘臂躋
風穿白雲唾手征

青天もつきます勢いで

肘もさくつて登り

白雲をつきめける一気力で

手に唾して進む

編集手帳

大澤 英次

無門関 頌 無門慧開 (1183~1260)

大道無門 千差有路 透得比関 乾坤独歩

大道無門、千差路有り。此関を透得すれば、乾坤に独歩せん。

大道に入る門は無く、到るところが道なれば、無門の関を透過して、あとは天下の一人旅。無門慧開は中国南宋時代、臨済宗楊岐派の禅者で、無門関48則を著した人です。禅宗はインドより達磨さんが中国へ伝えた仏教の一派です。

日本へ伝えられたのは臨済宗・曹洞宗・黄檗宗・普化宗の四宗派です。鎌倉時代、一種の宗教改革があり、浄土宗系（阿弥蛇如来信仰）、日蓮宗（妙法蓮華經）などの新宗派が出現し、禅宗もその一派です。禅宗は座禅を修行法の根本としますが、曹洞宗は黙照禅といって、達磨さんが洞窟の中で岩壁に向かい8年座禅を組んだ修行法を用い、壁に向かってひたすら座禅をします。臨済宗は看話禅といい、壁を背にして座禅し入室といって、師匠の部屋に行き、禅問答をします。そのとき与えられる課題を考案といいます。そのガイドブックには、碧巖録・臨済録・無門関などがあり、上記の頌は無紋関序文にあります。

三方会では会長をはじめ詩吟を嗜む方々が居られます。詩吟は主として漢詩を詠いますがこの偈のような短い詩（四言絶句）でも詠いようがあるのでしょうか？

自由に拘りのない心で吟じることができたらと思い綴ってみました。